

緑のセンターだより

NO.98 平成19年5月1日発行

発行元:(財)札幌市公園緑化協会
豊平公園緑のセンター

モクレン

モクレン属の植物はアジア、北アメリカに分布し、世界に約35種あります。一般に花の美しいものが多いため、古くから花木として利用されてきました。高木が多く、寺院や公園などに大木が残っています。札幌市中央区の三吉神社のコブシが札幌市の保存樹木に指定されています。

一般にモクレン(*Magnolia liliiflora*)は、その花の色からシモクレン(紫木蓮)とも呼ばれます。中国中部原産の高さ2~4mの落葉低木で、主幹がなく株立ち状に複数の幹が出ます。葉は倒卵状または卵状橢円形。花は早春に、ハクモクレン(*M. heptapeta*)より遅く、葉に先立って咲き始め、葉の展開後まで咲き続けます。萼は3枚、薄緑色で小さく、花弁は6枚で2列についています。花弁の外側は濃紫色内側は淡紫色、長さは10cm前後で上向きに半開します。花つき、芳香ともハクモクレンより少なく、花が終わると褐色の袋果が多数できます。袋果は卵状の長橢円形で褐色を帯び、熟して赤い種子が白い糸で吊り下がります。モクレン、ハクモクレンともに変異が多く見られ、花色の濃いもの、淡いもの、花弁の幅が広いもの、細いものなどの個体差がかなり見られますが、これは長年の栽培過程での実生変異と思われます。モクレンはハクモクレンより耐寒性が弱いとされていますが、道立林業試験場によると北海道におけるモクレン、ハクモクレンともに旭川周辺以南で良好に生育し、道東~道北地方では植栽事例も少なく生育もあまり良くないということです。変種に花、樹高ともにやや小型で葉と同時にやや淡い花を開くトウモクレン(*M. gracilis*)や、花色の濃いカラスモクレン(*M. liliiflora* var. *nigra*)があります。

1826年にフランスの園芸家スーランジューボダン(E. Soulange-Bodin)によって初めてシモクレンとハクモクレンの交配品種が作られて以来、欧米では多数の園芸品種が作られ、これらを総称して

モクレン科 *Magnolia*(モクレン属)

スーランジアナ(*M. × soulamgiana*)と呼びます。全体としてはハクモクレンに近い形質の落葉小高木です。開花期はハクモクレンより早くモクレンよりやや早く、花形、樹形などはハクモクレンに近いものからモクレンに近いものまで幅広い変異があります。花弁は内面が白く外側が紫紅色、色の程度にはかなりの個体差があります。アメリカには40以上の品種があります。花の豪華さと色のあでやかさが欧米の人々に愛され、早春の公園や公共施設の前庭を彩っているのが見られます。また日本でもこのグループの園芸品種が最も多く栽培されているようです。ニシキモクレン、サラサレンゲと呼ばれているものもこのグループに含まれます。

ハクモクレンはモクレンに似た中国原産の落葉高木で、高さ15mにも達します。葉に先立って花が咲き、花には香りがあります。萼は3枚、花弁は6枚で、萼と花弁は形、大きさともほぼ同じで、色は乳白色。広い鐘形に開

きます。開花期が

早いこともあ
り、しばしば
晩霜の害を
受け一夜で
褐変すること
があります。木自
体の耐寒性は強く、
最低気温の平均
が-10~0℃の
地域でも生育、
開花が可能とさ
れています。
(T.K.)



5月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明の点などは緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

☆百合が原 772-3511 木・日

☆平岡樹芸センター 883-2891 水・土 (4/29 開園)

◆鉢花の戸外出しと管理

《鉢花の戸外出し》

札幌近郊の山の雪もようやく融けてきて、いよいよ庭や畑の作業が始まりました。

室内で管理していたシンビジウムなど花の終わった鉢花は暖かくなるにつれ生育が盛んになるので外に出てよく日に当てるようにします。この時期、早く戸外に出したくなりますが、遅霜や夜温の低下に注意しましょう。一般的にはライラックの咲く5月下旬から6月中旬頃に多くの種類の鉢花を順次戸外に出しますが、冬期間室内で管理していた鉢花を戸外に出す場合、日光や紫外線での葉やけ、また寒風や強風に注意して、曇りや雨の続きそうな日や直射日光の当たらない場所などを選んで外に出し、徐々に馴らすようにしましょう。好天が続く場合は、朝8時～10時の日差しの弱い時間帯のみ戸外へ出し、日差しが強い午後や寒い夜は戸内へ取り込むようにし、そのような移動を4～5日間繰り返して馴らします。



《植え替え》

2～3年植え替えをしていないものは春の生育前に植え替えを行います。5月上旬から下旬が植え替えや株分けの適期です。アザレア、サツキ、シャクナゲなどツツジ科の植物は上旬までに植え替えをします。ニューギニアインパチェンス、ゼラニウムは中旬までに、中旬以降からはベゴニア類、クンシラン(株分けも含む)などの適期となります。



《用土・肥料》

通常の鉢土は、水はけ・水もち・通気性・保肥性の良い清潔なものを用います。赤玉土:腐葉土=7:3、赤玉土:腐葉土:火山礫=5:3:2などが一例です。ツツジ科など酸性土を好む植物は腐葉土の代わりにピートモスを用います。シンビジウムを除く洋ラン類は水ゴケなどで植え込みます(鉢は素焼き鉢を使用)。施肥は植え替え時にマグアンプKなど緩効性肥料を用土に混ぜ、1ヶ月後から薄い液肥を10日毎に与えます。

《病害虫の防除》

冬季間室内に置いた鉢物には、カイガラムシ、オンシツコナジラミ、コバエなどの病害虫が見られます。戸外で適当な防除剤を散布しましょう。

《戸外出し時期》

5月下旬～6月上旬	プリムラ類、アザレア、サツキ、ジンチョウゲ、アオキ、ヤツデ、ツバキ、ゼラニウム、フクシア、マーガレット、シンビジウム(小中型)など
6月上旬～6月中旬	ベゴニア類、アマリリス、クジャクサボテン、クンシラン、柑橘類、デンドロビウム(ノビル系)など
6月中旬以後	ブーゲンビレア、ハイビスカス、アデニウム、ポインセチア、クロトン、ドラセナ、ゴム類、フェニックス、クチナシ、アブチロン、アナナス類、シンビジウム(大型)、カトレアなど生育温度の高い植物

◆果菜類の定植

5月になると店頭には早々と、果菜類の苗が出回りますが、定植にはまだ早く適期は5月下旬から6月上旬になります。早く植えたいときは、マルチ、トンネル、ハウス等の保温資材、施設を組み合わせる必要があります。マルチングで約1週間前進させることができハウス(マルチ+トンネル)を組み合わせると1ヶ月前進させることができます。

無理な早植は、活着が悪く初期生育が劣り品質収量が低下し、結果的には適期に植えたものに負けてしまいます。適期定植に努めましょう。

畑の準備

定植2週間前に堆肥、石灰などを入れ十分起しておきます。1週間前には肥料を撒いて混和し土に馴染ませておきます(マルチングはこの時に)。果菜類は果実が肥大を始める頃から養分の吸収が多くなるので、基肥に約半量施し残りは草勢を見ながら2~3回に分け追肥します。

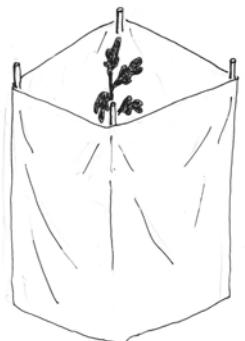
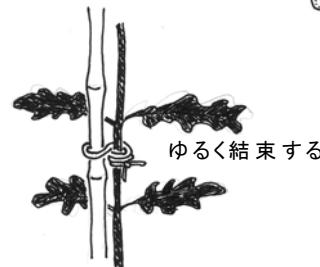
基肥が多いと、作物は過繁茂となり病害の発生も助長されます。



定植

苗には前日に十分にかん水をしておきます。根鉢を壊さないように丁寧に植えます。畑が乾燥しているときは、事前にかん水しておきます。植え付けは遅くとも午後3時には終わるように作業を進めましょう。

深植えは初期生育が遅れるので注意します。根鉢上部が地表と同じくらいに納まるように植え、土を少しきかげ軽く押さえる程度で十分です。植えた後は支柱を立てひもが締まらないように8の字にかけて結びます。出来ればポリ袋などで風囲いが出来れば理想的です。



◆Q&A

Q プラム、サクランボ、ウメなどの果樹を栽培しています。昨年3月に緑のセンターで行われた「果樹類の剪定と休眠期の病害虫防除」講習会で休眠期の石灰硫黄合剤の散布は重要であり、必ず行ったほうが良いとの話を聞き4月15日に石灰硫黄合剤7倍液を散布しました。開花や着果は順調で問題の縮葉病も防ぐことができましたが、収穫期頃にはサクランボには果実の表面にカビが生えて腐るものや果実の中に虫がいるものがあり、プラムやウメにも果実の中に虫がいて、きれいな果実は2割ほどしか取れませんでした。石灰硫黄合剤の効果はなかったのでしょうか。別に防除法はあるのでしょうか。

A 果樹類には多くの病害虫が発生し、特に成木や老木になると病害虫の種類や発生量も多くなります。ウメやモモの縮葉病や胴枯れ病、カイガラムシなどは菌や虫が樹木について越冬していますので休眠期の間に削り取るとともに石灰硫黄合剤の散布が必要です。ご質問の病害虫はサクランボの場合は灰星病とオウトウミバエという害虫、プラムやウメの場合はシンクイガの仲間の幼虫でリンゴ、ナシ、スマモなどの果樹にもよく発生します。これらの病害虫は樹木についている場合もありますが多くは別の場所(周辺の草むら、樹園下の土中や落ち葉の中)で越冬していて花が咲き葉が開き受精して実がなり始める頃に飛んできて幼虫に卵を産み付けてやがて孵化した幼虫は果実の中に潜り込みスジ状に食害しながら生長し虫食い果になったり腐敗したり場合によっては落果します。灰星病は前年の被害果からカビが飛んできて成熟期近くなると発芽侵入して発病し罹病部(果実前面)にカビが生え腐敗します。

したがってオウトウミバエ、シンクイムシや灰星病などは休眠期の石灰硫黄合剤では防ぐことはできません。小さな果実が見えてきたらシンクイムシやオウトウミバエに有効な殺虫剤と灰星病などに有効な殺菌剤を混ぜて、樹種や発生状況により7~10日間隔で4~5回散布すると防除することができます。また、このような薬散で他の病害虫も予防することができます。

果樹の病害虫は肥培管理、整枝剪定、休眠期と生育期の体系防除の総合技術で防ぐようにすると効果的です。

5月～6月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内 容	日	時 間	申込開始日	費 用・備 考
園芸教室				
トマト・キュウリの定植と管理	5/17(木)	13:30	5/11(金)	無料
寄せ植えハンギングバスケットを作ろう	5/29(火)	10:00	"	3,000 円
花・野菜・庭木の病害虫防除	6/6(水)	13:30	"	無料
春のミニ盆栽を作ろう	6/9(土)	"	"	2,500 円
展示会				
アジサイ展	5/8(火)～20(日)			
山野草展	5/25(金)～27(日)			
春の小品盆栽展	6/1(金)～3(日)			
バラエティ盆栽展	6/7(木)～10(日)			
斑入り植物展	6/9(土)～10(日)			
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会 花便り	5/17(木)	10:00	5/11(金)～	1,500 円
花の押し方 4回コース 5/24(木)、5/31(木)、6/7(木)、6/14(木)	10:00～		費用:7,000 円	
あけび工房講習会 シラカバの枝カゴ	5/30(水)	10:00	5/11(金)～	2,300 円

コチョウラン植え替えサービス

6/2(土) 完全予約制 5/11(金)予約受付開始 (材料費:実費)

ご自宅のコチョウランをご持参いただき、マンツーマンで実演ご指導いたします。

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511

講習会 内 容	日	時 間	申込開始日	費 用・備 考
樹木観察会	5/20(日)	13:30	5/11(金)	200 円
公園の生き物観察会	5/26(土)	6:00	"	"
壁型バスケットの基本を学ぶ	5/18(金) 5/20(日)	10:00 "	"	500 円+材料費
ハーブと野菜のミニキッチンガーデン	6/1(金)	"	"	"
季節の葉物を使った寄せ植え	6/3(日)	"	"	"
ハンギングバスケット・コンテナ教室	6/8(金)～10(日)	"	"	"
展示会		日	料 金	
ビオラ展	4/24(火)～5/6(日)		入館料 130 円	
セントポーリア展	5/2(水)～6(日)		"	
ペチュニア展	5/8(火)～6/3(日)		"	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

内 容	日	時 間	申込開始日	費 用・備 考
芝生の庭作り	5/13(日)	13:30	5/11(金)	無料
ツツジ等花灌木の剪定	5/20(日)	10:00 13:30	5/11(金)	"
庭木の病害虫防除	5/27(日)	13:30	5/11(金)	"
マツ類の緑摘み	6/3(日)	10:00	5/11(金)	"
アレンジ押し花講習会 花便り	5/18(金)	10:00	5/11(金)	1,500 円
ミニ壁掛け	6/1(金)	10:00	5/11(金)	1,500 円
サプライズフラワーアレンジ教室 春の花をゴージャスな器にアレンジ	5/24(木)	10:00	5/11(金)	2,500 円